

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月15日

公表: 令和6年3月28日

事業所名 放課後等デイサービス KATALIBA

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	スペースの余力が多少ある為、児童ごとに支援エリアを分けられています。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		業務改善の為のPDCAサイクルについては一部の職員で進めてしまうことがないよう、朝会等の時間を利用して職員間で共有を行ない、共通認識を持つようにします。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	保護者の皆さまの意向を、児童発達支援管理責任者が職員全体に共有し、職員間で意見を出す時間を設けています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	1	外部有識者による巡回を通じて、業務改善に繋がっています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	定期的に職員研修を行い、力量の向上に努めています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	・初期状態の把握をしています。 ・基本的ニーズの把握をしています。	
適	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントツールとしてISSPやSM社会生活能力チェックを使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	書面会議や朝会、臨時会議などを開催しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1	開所後間もない為そこまで至らないことがあるが、イベントや運動療育を積極的に取り入れています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	全職員で確認しています。	

切 な 支 援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	支援内容に偏りが ないよう、個別・集 団活動を組み合わ せて計画を立てて います。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝会にて昨日の振 り返りや本日の支 援内容を確認して います。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	支援終了後の打ち 合わせ時間を設け ています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	サービス提供記録 により保護者の皆 さまに公開してお り、個々はファイル やカレンダーを作 成して記録してい ます。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	状況の変化に伴 い、半年に1回と定 めずにモニタリング を実施しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7	0	ガイドラインに沿 って支援を行なっ ています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理 責任者含め支援員 が参画していま す。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7	0	学校との情報共有 は適宜行っていま す。トラブル発生時 には事実確認を行 い、発生当日中の 解決に努めていま す。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	4	時に主治医の方と 直接話すること で体制を整えてい ます。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	一部の利用者のみ ならず全利用者で 情報共有と相互理 解を行なうことが望 ましいと思料しま す。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	専門機関による研 修を受けていま す。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	6		

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	HUGや電話などで共通理解に努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	保護者への対応力向上に繋がる意識を持つことを心掛けています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	常に丁寧な説明を心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	心の相談の機会等を通して保護者の方の相談に応じています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		保護者会の回数を増やして、保護者の方同士の連携も深めていけるようコーディネート役を行なう準備をしています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	苦情について真摯に向き合い、速やかな対応は必須であると心得ています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	事業所のイベント表等は定期的に配信しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報を扱う際には必ず保護者の皆さまの承諾を得ています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	状況に応じてオープンクエスチョン（開かれた質問）と、クローズドクエスチョン（閉ざされた質問）を使い分けています。	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	3		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		マニュアル整備について、入念な策定を行ないます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	年度に2回、法定消防訓練を行なっています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	毎年虐待防止の研修及び月に1度「虐待防止ならびに身体拘束適正化検討委員会」を開催しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	保護者の方に了承を得た上で支援計画への記載を行なっています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	保護者経由で医師の指示を確認し、係る支援を行なっています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	回覧して周知しています。	